

英語英文学科

「英米文学」「英語学・言語学」「国際コミュニケーション」の分野

英詩の世界／
『赤毛のアン』の世界教授 赤松 佳子
(専門分野：英米詩・カナダ文学)

英詩がわかると、英語の特徴がよくわかります。英語で書かれた詩の鑑賞法を、お話しします。／カナダの長編小説『赤毛のアン』には、英語ならではの表現や、翻訳の題材として最適な要素が詰まっています。両者を解説し、英語圏文学を読む面白さを語ります。

日英語翻訳・比較

教授 木津 弥佳
(専門分野：英語学)

日本語と英語の文法や文体などを比較して、両言語の共通点と相違点を探ります。また、日英間の翻訳を行う際に生じる文化的問題等を挙げて、翻訳が異文化理解の作業となっていることを示します。

大学での言葉の学び方
－言語学の見地から教授 坂口 真理
(専門分野：英語学)

日本語話者が英語を学ぶ場合をドイツ語話者が英語を学ぶ時と比較して、難しいかやさしいかを考えます。また、音声学的にみて、日本語話者が英語に習熟するコツを伝えます。

アメリカのユダヤ社会・
文化・文学・言語教授 広瀬 佳司
(専門分野：アメリカ文化・文学)

アメリカは多民族一国家です。そのために様々な民族が存在して、その国を形成しています。その少数民族の中でも特に活躍が目立つのがユダヤ民族です。そのユダヤ人の視点からアメリカ社会を論じていきます。

What is Literature and
Why is It Important?教授 David Ramsey
(専門分野：Literature & Culture Studies)

The presentation demonstrates that literature is all around us as part of our daily lives. It also explains that literature includes cultural, historical, political, religious, psychological, sociological, and economic aspects.

How to Be Really Good
at English教授 Robert Waring
(専門分野：Language Acquisition)

This lecture will teach you the important things you need to know about how to be a good learner. It teaches you about the best ways to learn English quickly and effectively.

文化人類学から世界を見る

准教授 小野 真由美
(専門分野：文化人類学)

この講義では、世界の様々な国や地域の文化を研究する文化人類学という分野について紹介し、異文化理解や国際コミュニケーションのもつ現代的な意義について考えます。

イギリス文学を楽しむ

准教授 松井 かや
(専門分野：イギリス・アイルランド文学)

『フランケンシュタイン』や『ガリバー旅行記』といった有名な作品を入り口に、文学と社会の関わり（ジェンダーや労働、人間関係、差別など）について考えます。ストーリーを味わうだけではない、文学を読む／学ぶ楽しみや意義についてお話しします。

英語英文学科

「英米文学」「英語学・言語学」「国際コミュニケーション」の分野

Let's Make New and Interesting Mistakes

准教授 **Kate Bowes**
(専門分野: English Education)

Risks in language learning can be richly rewarding. The more (new) mistakes you make, the greater your progress will be. This lesson looks at fixed and growth mindsets and the importance of active learning.

How to Be a Global Citizen

准教授 **Thomas Fast**
(専門分野: Global Citizenship Education)

Students will learn about problems in the world and how they, as global citizens, can help to fix them.

Dictation Practice

准教授 **Carolyn Swierski**
(専門分野: Language & Drama)

Being able to correctly repeat what you hear, is a sign that you have understood what the speaker is saying. Dictation is a tool that I use in my classes to build up students' listening, memory, and pronunciation skills. We will practice together to determine your strengths and weaknesses to see what needs work.

日英語比較

講師 **山口 麻衣子**
(専門分野: 言語学)

日本語と英語の共通するところ、異なるところについていくつか見ていきます。ある表現の意味する範囲が必ずしも2言語間で一致しないことを知っていることで、学習者は誤った表現(訳)を避けることができるようになります。



Department of
English Language and Literature

日本語日本文学科

「日本文学」「日本語学」「書道等の言語文化」の分野

敬語のしくみを考える

教授 尾崎 喜光
(専門分野：日本語学)

日本語の特徴の一つに敬語があります。「行きます」の「ます」、「(そこに)いる」に対する「(そこに)いらっしゃる」などが代表的な敬語です。では、こうした表現が敬語としての働きを持っているのはどういう原理によるのでしょうか。それを考えます。

ヒーローの条件

—平安期物語の人物と表現—

教授 中井 賢一
(専門分野：平安期の物語文学)

「ヒーロー」と聞くとどんな人物をイメージしますか？ 平安期の物語には、私たちの常識とは少し異なる「ヒーロー」が多く登場します。平安期物語ならではの背景や表現に注目することで、彼らが「ヒーロー」たりうる条件について考えます。

坪田譲治と岡山

教授 山根 知子
(専門分野：日本の近代文学)

日本における「リアリズム児童文学の祖」と評される岡山出身の坪田譲治は、岡山を舞台とした作品を数多く生み出した作家です。岡山での譲治の体験を知り、「幼時に知った幸福」に支えられた譲治文学を分析することで、郷土の魅力と文学の力を見出しましょう。

仮名の書き方を考える

講師 家入 博徳
(専門分野：書学)

書では平仮名以外の文字も仮名として使用しています。例えば、「阿」や「悪」も「あ」として使用しています。したがって、それらをどのように使用して書くのかを考えます。また、古典において仮名がどう書かれてきたかについても見ていきたいと思います。



Department of
Japanese Language and Literature

現代社会学科

「社会学」「歴史学」「考古学」「地理学」の分野

戦争と民衆

—アジア太平洋戦争下の岡山空襲を素材に—

講師 久野 洋
(専門分野：日本近代史)

戦争で命を落とすのは、たいていの場合、権力者ではありません。戦場に行く兵士であり、私たち一般の市民です。過去に戦争が起こったときに、権力者たちはどう振る舞い、社会はようになったのか。本講義では、岡山空襲を素材にして戦争と民衆の関係を考え、歴史を学ぶ意味を問い直します。

自動運転技術をめぐる 倫理と現代社会における 宗教文化

講師 福田 雄
(専門分野：宗教社会学)

自動車の自動運転技術の導入は、事故件数の大幅な減少をもたらす一方で、それでも起こる人身事故についての責任問題をどうするかという社会的ジレンマをももたらします。本講義では、私たちが自動車にどのような倫理をプログラミングするかという問題を通じて、現代社会における宗教文化について考えます。



Department of
Contemporary Sociological Studies

人間生活学科

「経営・経済学」「社会福祉学」「人間関係学」「生活環境学」
 「被服学」「調理学」「住居学」の分野

世界の人口と食料問題

教授 清水 純一
 (専門分野: 食料需給問題・ブラジル農業)

20世紀になり、世界人口が急激に増加しました。これに対して、食料生産も負けないスピードで増加したため、全体として、食料は足りています。しかし、食料の分配では世界の中には大きな格差があります。この事実をどう捉えたら良いのか皆さんと考えてみます。

福祉の先駆者に学ぶ

教授 杉山 博昭
 (専門分野: 社会福祉学)

社会福祉を先駆的に切り開いた人物を取り上げ、その歩みをたどっていきます。特に岡山出身者に多くいるので、岡山に関係する人を取り上げていきます。

データサイエンスを学ぶ

教授 大東 正虎
 (専門分野: 情報技術論・社会シミュレーション)

情報技術の活用が盛んになり、私たちのさまざまな活動がコンピュータに記録されるようになってきました。近年では企業などにおいて、これらのデータを分析できる人材に期待が寄せられています。本講義では、データをサイエンスすることの概要を解説します。

生活の中にある経済

教授 豊田 尚吾
 (専門分野: 生活経済学)

新型コロナウイルス感染症を原因とするモノ不足などの経験から、普段意識もしない経済のシステムが私たちの暮らしを支えていること、それが頑健であり脆弱でもあることが分かります。そのような身近な経済についてSDGsなど最近の話題も加えてわかりやすくお話しします。

マーケティングのイマとミライ

教授 深谷 信介
 (専門分野: マーケティング、都市デザイン、モビリティ)

あらゆる環境が目まぐるしく変化し、予測できない状態が続く現代を「VUCAの時代」と呼ぶようになりました。今、マーケティングが、資本主義が、大きな変曲点に差し掛かっています。私たちは何を学び、どう革新していけば良いのでしょうか?そのヒントを皆さんと考えていきたいと思えます。

ボランティアって何だろう

准教授 中井 俊男
 (専門分野: ボランティア・福祉)

ボランティアって何だろう?困っている人がいたら、災害がおこったら…。自分のことだけでなく、ほんの少しの思いやりと勇気をもって、自分に何ができるのか考えていただくためのヒントをお伝えします。



Department of
Human Living Sciences

人間生活学科

「経営・経済学」「社会学」「社会学」「社会学」の分野
「被服学」「調理学」「住居学」の分野
「人間関係学」「生活環境学」

これからの住まいづくり・まちづくりを考える

准教授 成清 仁士
(専門分野: 建築史・意匠学、まちづくり)

中心市街地活性化に係るまちづくりの実務経験および住民主体のNPOと協働した歴史ある住まいを再評価し受け継いでいくための活動経験を踏まえて、これからの住まいづくりやまちづくりを考えていくための視点を多角的に取り上げて講義します。

ジブリのアニメ作品にみるヒットの法則

—作品の魅力と広告のカー

准教授 葉口 英子
(専門分野: 広告論・メディア文化論)

スタジオジブリのアニメ作品は高い人気を得ています。人気の要因には宣伝の力も大きく関連しています。講義ではアニメ映画がどのように制作され、宣伝され、収益をあげているのか、映画業界の仕組みにも触れながらその人気の秘密を解説します。

私たちの暮らしと福祉

准教授 濱崎 絵梨
(専門分野: 社会福祉学・高齢者福祉論)

現代社会におけるさまざまな福祉課題について、ディスカッションを交えながら学び、私たちにできることを考えます。



Department of
Human Living Sciences

児童学科

大学で臨床心理学を学ぶ

教授 平松 清志
(専門分野：臨床心理学)

大学で学ぶ心理学という学問について、特に臨床心理学に焦点を当てて説明をします。大学卒業後の進路や、取得できる心理学関連の資格も紹介します。また、どのような人が心理学を勉強するのに向いているのかも話題にします。

絵本を介した コミュニケーションづくり

教授 村中 李衣
(専門分野：児童文化・児童文学)

長年、小児病棟や児童養護施設、老人介護施設や少年更生施設、刑務所等で、絵本の読みあいを通じた柔らかな関係づくりを行ってきました。その実践を通して見えてきた物語の力について紹介していきます。

「心理学」「教育学」「児童福祉学」「児童文化学」
「芸術（美術・音楽）」「特別支援」の分野



Department of
Child Welfare

食品栄養学

「栄養生化学」「食生態学」「栄養管理学」「食品学」の分野

アミノ酸と健康科学

教授 小林 謙一
(専門分野：生化学・基礎栄養学)

アミノ酸は、「からだ」を構成するタンパク質の材料としてだけでなく、「こころ」に関わる神経伝達物質としても重要な役割を担っています。また、アミノ酸代謝の異常が病気と関連することも知られています。そんなアミノ酸と健康との関わり合いについて解説します。

ストレスを測る

教授 戸田 雅裕
(専門分野：公衆衛生学)

個人のストレスを定量的に測定することは、他者との比較、またその軽減や対処手法の確立において非常に重要であると考えられます。本講義では、ストレスに関する基本的事項を述べるとともに、その主観的ならびに客観的評価手法について解説します。

食リスクと菌類のかかわり

教授 長濱 統彦
(専門分野：食品衛生学)

ほとんどすべての食品が何らかの有害な要素を含んでいます。菌類はカビ、キノコ、酵母に代表される微生物群であり、発酵食品などを通じて食品と深くかかわっています。これらが関連する食品のリスクについてわかりやすく論述します。

コーヒー香気の薬理学

教授 林 泰資
(専門分野：生理学・薬理学)

コーヒーは、世界で最も消費されている嗜好飲料です。コーヒーと健康に関する研究は数多くあり、糖尿病、肝臓癌、パーキンソン病などのリスク低下が報告されています。本講義では、コーヒーの香りに注目し、その機能性と嗜好性について解説します。

疾病予防から見た健康長寿食の提案

—減塩食と栄養バランス食との融合—

准教授 今本 美幸
(専門分野：臨床栄養学)

日本人の二人に一人は高血圧です。毎日の高塩分の食事は高血圧の原因となり様々な疾病を引き起こします。疾病予防には栄養バランスのよい食事と減塩を融合した食事が勧められますが、これが健康長寿食となります。本講義では、この食事について具体的に提案します。

健康づくりのための食育って？

准教授 焰硝岩 政樹
(専門分野：公衆栄養学)

「食育」という言葉はよく聞きますが、具体的に説明できる人は少ないのではないでしょうか。私たちが健康に過ごすためには、日頃から健康づくりのための「食育」を実践することが大切です。自分自身の食生活を振り返り、「健康づくりのための食育」を一緒に考えます。

健康な食事の実践

准教授 小川 眞紀子
(専門分野：調理学・応用栄養学)

日常の食事で健康を保持、増進していくために「何を、どれだけ食べたらよいか」の把握はわりと難しいです。そこで、分かり易く実践しやすい食育ツールとして、「食事バランスガイド」「3・1・2弁当箱法」の活用について解説します。

糖尿病食は健康食

—日常に役立つ臨床栄養学—

准教授 小見山 百絵
(専門分野：臨床栄養学)

疾病の治癒改善や予防には栄養状態を良好に保つことが重要であり、そのための学問が臨床栄養学です。食事との関わりが大きい糖尿病を例に挙げながら食事療法について解説し、糖尿病でない方にも役立つ栄養や食事の知識を紹介します。

食品栄養学科

「栄養生化学」「食生態学」「栄養管理学」「食品学」の分野

給食利用者に合わせた 栄養・食事管理

准教授 小山 洋子
(専門分野：給食経営管理論)

給食は利用者が規則正しい食習慣を身につけ、より健康的な生活を送るために必要な知識を習得する良い機会です。ではどのような給食を提供すると良いでしょうか。経営面、栄養面、食環境面など多面的な視点から「給食」について考えていきたいと思います。

どこまで知っていますか？ 糖尿病

准教授 山下 美保
(専門分野：臨床医学)

日本国内の患者数は約950万人、予備軍を合わせると約2050万人と、実に6人に1人が関係している糖尿病。誰でも耳にしたことがあると思いますが、一体どんな病気、どのような予防や治療があるのでしょうか。若い内からその成り立ちと生活上の注意点を理解していきましょう。

食品中の水の不思議

准教授 吉金 優
(専門分野：食品学)

食品に多く含まれる成分として、「水」があります。水分子 H_2O が多数集まった液体状の水は、極めて特異な性質を持ちます。この食品中の水の特異性が、食品の保存性、味、物性などに大きく影響し、調理・加工にも大きな役割を果たします。食品中の水の性質について解説します。

行動変容のための栄養教育

—食生活の課題と展望—

准教授 若本 ゆかり
(専門分野：栄養教育論)

健康維持のためには、不適切な食行動を望ましい行動へと改善（変容）することが重要です。行動変容のために求められる教育・指導方法と、不適切な食行動が生じやすいライフスタイルの現状や課題について、関連付けながら解説します。



Department of
Foods and Human Nutrition

各センター

「英語教育センター」「インクルーシブ教育研究センター」

英語教育センター

外国語を学ぶ意義

教授 伊藤 豊美
(専門分野：英語教育)

- (1) 「言語」について考えてみよう
 - ① 母語と外国語
 - ② 言語の習得
- (2) 「異文化理解」について考えてみよう
- (3) 「良き国際人とは」について考えてみよう

物語文の特徴と読み方

准教授 小橋 雅彦
(専門分野：英語教育)

物語文の基本的な構成を知ること、主人公の心情の変化やその物語の背景にある主題がつかみやすくなります。物語文の持つ面白さを味わい、より深く豊かな読みを体験してみましょう。

アクティブ・ラーナーになろう

—英語学習が今より好きになるために

准教授 調子 和紀
(専門分野：英語教育)

アクティブ・ラーニングの手法を用いた英語授業を体験します。「英語で学ぶ」ことに対して、今よりも少し興味・関心を持てることを目指してみます。

英語学習の科学

—データにもとづく効果的な勉強法—

助教 高橋 昌子
(専門分野：英語教育)

英語の習得に、動機づけや、学習方法がどのような役割を果たしているのかについて考えます。英語学習に正解はありませんが、第二言語習得研究にもとづいて、より効果的な英語勉強法を体験してみましょう。

インクルーシブ教育研究センター

共生社会の形成に向けて

～インクルーシブデザインワークショップ～

准教授 青山 新吾
(専門分野：インクルーシブ教育、特別支援教育)

インクルーシブ教育は、多様な人々が共生できる社会を形成する基盤を作る教育です。ここでは、「インクルーシブデザイン」という考え方について、日常生活の具体的な商品や出来事を例にしたワークショップ型講演を行い、一緒に考えていきましょう。

共生社会の実現にむけて

～インクルーシブな心・聴く力、コミュニケーション力の育成

准教授 日下 紀子
(専門分野：臨床心理学)

ひとり一人が自分と他者を互いに尊重しながら、より心豊かに生きていくためには、相手を理解し、自分をきちんと表現するコミュニケーションが欠かせません。その基盤となる聴く力、コミュニケーション力はどのように育まれるのか、一緒に考えていきましょう。

共生社会の形成に向けて

～特別支援の視点を取り入れた保育の実際～

准教授 三宅 一恵
(専門分野：幼児教育)

人格形成の基礎を培う幼児期の教育・保育では、一人一人の子どもを理解することが何より大切です。子ども同士、互いのよさを受け止め合い、安心して過ごせるためには、どのような環境づくりを行い保育することが必要なのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

各
研
究
所

「キリスト教文化研究所」「児童臨床研究所」

キリスト教文化研究所

日本の児童文化とキリスト教

教授 小林 修典
(専門分野：キリスト教学)

近代日本の児童文化の発展の過程においてキリスト教は重要な役割を果たしました。とくにキリスト教思想に基づくフレールベルの始めた幼稚園教育の日本への移入と、教会関係者によって行われたキリスト教精神を伝える西洋の児童文学の翻訳は重要です。

日本文学とキリスト教

教授 山根 道公
(専門分野：日本キリスト教文学)

日本文学者の中で、キリスト教と深く関わり、それをテーマにした作品を書き続けた作家の代表として、芥川龍之介と遠藤周作を取り上げ、作家の生涯をたどりながら、そこから生まれたキリスト教的テーマをもつ作品について解説し、その現代的な意義を考えます。

児童臨床研究所

子どもと出会う保育学

教授 西 隆太郎
(専門分野：保育学・臨床心理学)

保育は人と人のかかわりによって成り立つものであり、出会いを通してともに育つ相互的な営みです。保育の体験から、私たちは人間について、また信頼関係の原点について学ぶことができます。そんな保育学について、事例を通して具体的にお話します。

“障害”のある子どものより良い成長を支援するために

准教授 東 俊一
(専門分野：障害児心理)

近年、障害のある子どもへの支援の重要性が叫ばれています。では、“障害”とはどのようなもので、障害のある子どものより良い成長を促すために、どのような支援が必要なのでしょう？その概要について紹介します。